

秋田秋田縣曰久保田より十丁程水
新田山といふ所ありけり是を以て久保田と云ふ
古中にあつたとありけりを考れば依竹屋
内入部以来の建ちよや。宝暦中又十石以上が
増あり。

一湊

久保田に古人秋田の城下次ぐ。大邑なり此處
あり東經三十三老延應元年十一月五日
柔に出羽國秋田郡湯河湊とあり。此處
の事よや。當郡中の外に湊なり。今ハ古湊

の湊といふ。當地ハ城あり平地より。今
水堀二重とあり。大なる申所に
あり。堀ハ少なり。是ハ秋田城ハ古
なりといふ。二十年前に破れ。これハ城内
ハ草木を以て障りて居を塞ぐ。堀ハ
斗見ゆとあり。城址今ハ古屋敷となれり
堀ハ芋畑となり。古人十月是を摘み中
ノ賣。

三代実録ハ舊城とあり。此處の事なり。
今按じ。に於てハ引傳。日本逸史